

No.146 (不定期配信)

“Great Wall” Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社、本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

封鎖通知は突然に……

「この建物はもうすぐ封鎖されます。早く出たほうがいいですよ！」——。オフィスビルの管理部門から突然通知が来た。平日16時過ぎ。就業時間中の職場に緊張感が走る。「ついに来たか」。慌てて荷物をまとめ、文字通り着の身着のまま非常階段を駆け下りた。閉じ込められる前に脱出成功。ギリギリセーフ。程なくしてビルは封鎖され、48時間の出入り禁止と相成った。一体、何が起きているのか……。

★ ★ ★ ★ ★

新型コロナのオミクロン変異株の感染拡大が続く上海。陽性者や濃厚接触者が発覚すると、彼らの立ち寄り先であるマンションや勤め先、商業施設などは即封鎖され、その場にいる全員を閉じ込めてPCR検査が実施される。中国が標榜するゼロコロナ政策の面目躍如。徹底検査&隔離の最前線だ。

この方式が拡大し、今では全市規模でのスクリーニング検査が行われている。上海市のPCR検査能力は1日当たり最大約2000万件。人口約2600万人の大部分をカバーできる。圧倒的な物量によるパワープレイである。

検査結果が出るまでは行動制限、すなわちプチロックダウンとなる。強制隔離なので逃れる術はない。私も自宅マンションで1日半ほど閉じ込められ、無事に「お勤め」を果たした。最近の市民の挨拶は「もう封鎖キタ？」というものだ。

封鎖通知は突然である。私のマンションの場合、前日19時頃に「あす0時から封鎖。出入り禁止。午前中に全員PCR検査を行います」とA4用紙1枚のお知らせが来た。日系企業も多く入居する金融エリア・陸家嘴のオフィスビルでは、同様の通知が前日22時に来たそうである。中国は何かにつけて直前までスケジュールを発表しないのが常。ここでもそのルールが適用されているようだ。間一髪で逃げる不届き者を出さないようにするためだろうか。そうい

えば2年前の「武漢封鎖」も突然の出来事だった。

一斉PCR検査だが、ビルやマンションで1人でも陽性者が発覚すれば全員再検査となり、その結果が出るまでロックダウン期間が延びる。究極の連帯責任だ。概ね1日1回の検査だが、1回目で陰性でも2回目で陽性、2回目まで陰性でも3回目で陽性になる人もおり、そうなる検査&隔離の無限ループ状態に陥る。これを仲間内では「隔離のお代わり」と呼ぶ。使用例は「いや～、お代わりを3回も食らっちゃいましたよ」など。あまり使いたくない言葉だが、この沼にハマり、都合7日間の自宅隔離を経験した知人がいるから笑い話にもならない。彼自身は陰性で、誰かのとばっちりを受けてしまったのだ。

別の中国人の知り合いは「また羊が見つかった……」とカラ元気で話してきた。何のこことかと思ったら、陽性者の発覚を指しているよう。中国語で「羊」と「陽」は同じ発音。せめてもの言葉遊びで、隔離延長ループが続く自分を励ましているのだろう。これも同じ発音の「瘋」(気がおかしくなる)と「封」をかけて、「『封』鎖でアタマが『瘋』になっちゃう」という切実な声も聞かれる。私は「とにかくガンバレ」と声をかけるしかないのだが……。

★ ★ ★ ★ ★

さて、3月中旬に1週間のロックダウンを経験した深セン市。封鎖直前には、自宅作業用にオフィスの資料を持ち出そうという市民が続出し、深夜の道路が大渋滞したそうである。「これこそ深センパワーだ!」という類の投稿もSNSを賑わせた。私の場合、「魂みたいなものは会社に置いてきた」と往年の名セリフをもじりながら、慣れないリモートワークに勤しんだものだ。

街では「上海加油! (上海がんばれ!)」の看板が増えてきた。2年前は「武漢加油!」というフレーズが至る所で見られたが、まさか応援される立場になるろうとは、「羊をめぐる冒険」はもう少し続きそうだ。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 1.1000%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客様に提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役職員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

【免責事項等】

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できると思われる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<https://www.toyo-sec.co.jp/>

2022 年 3 月 25 日
審査部審査済